

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年8月9日

**【四半期会計期間】** 第91期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

**【会社名】** 中央発條株式会社

**【英訳名】** CHUO SPRING CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 取締役社長 高橋 德行

**【本店の所在の場所】** 名古屋市緑区鳴海町字上汐田68番地

**【電話番号】** 052 623 - 1111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 経理部長 小笠原 喜信

**【最寄りの連絡場所】** 栃木県塩谷郡高根沢町宝石台一丁目7番地3号

**【電話番号】** 028 680 - 2721

**【事務連絡者氏名】** 東日本営業所所長 栗本 洋二

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所  
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第90期 第1四半期連結 累計期間		第91期 第1四半期連結 累計期間		第90期	
	自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年4月1日 平成25年6月30日	自 至	平成24年4月1日 平成25年3月31日
売上高	(千円)	20,467,573		20,767,950		82,050,561
経常利益	(千円)	151,216		893,117		2,504,337
四半期(当期)純利益	(千円)	106,456		626,251		1,288,823
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	671,234		2,457,921		3,892,605
純資産額	(千円)	44,627,093		51,501,014		49,060,892
総資産額	(千円)	76,940,187		85,381,257		81,814,724
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	1.70		9.98		20.55
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-		-		-
自己資本比率	(%)	54.5		56.7		56.3

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当社グループ(当社及び当社の関係会社)は、当社、子会社22社及び関連会社1社で構成されており、日本、北米、中国、アジアにおいて、ばね、コントロールケーブル及び自動車用品の製造販売等を主な内容とし、事業活動を展開しております。

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

国内販売は減少したものの海外市場の好調により当第1四半期連結累計期間の売上高は、207億6千7百万円（前年同四半期比1.5%増）となりました。

また、損益の状況につきましては、全社を挙げて原価低減活動に取り組んでまいりました結果、営業利益は3億1千1百万円（同73.7%増）となりました。また、経常利益は8億9千3百万円（同490.6%増）、四半期純利益は6億2千6百万円（同488.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高はセグメント間の売上高を含んでおります。  
〔日本〕

自動車販売台数が減少した結果、売上高162億5千1百万円（前年同四半期比6.8%減）、営業利益5億7千3百万円（同19.5%減）となりました。

〔北米〕

米国の景気回復を背景とした自動車販売台数の増加により売上高25億9千8百万円（前年同四半期比28.2%増）、営業利益1億1千3百万円（前年同四半期は7千8百万円の損失）となりました。

〔中国〕

主に子会社である昆山中和弹簧有限公司の売上が増加したことにより売上高12億5千1百万円（前年同四半期比38.6%増）、営業利益1百万円（前年同四半期は6千5百万円の損失）となりました。

〔アジア〕

インドネシア、タイ、台湾市場の好調により自動車販売台数が増加した結果、売上高29億5千万円（前年同四半期比22.5%増）となりましたが、原材料費及び労務費の増加などの減益要因により、営業利益3千9百万円（同37.4%減）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、5千7百万円であります。なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 生産、受注及び販売の実績

当第1四半期連結累計期間において、中国セグメントにおける生産及び販売実績が著しく増加しました。

これは、主に子会社である昆山中和彈簧有限公司の売上の増加によるものであり、生産実績12億1千2百万円（前年同四半期比34.3%増）、販売実績12億5千1百万円（同38.6%増）となりました。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	63,855,994	63,855,994	東京証券取引所 名古屋証券取引所 各市場第一部	単元株式数 1,000株
計	63,855,994	63,855,994	-	-

(注) 「提出日現在発行数」欄には、平成25年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	63,855,994	-	10,837,208	-	11,128,923

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,131,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 61,951,000	61,951	-
単元未満株式	普通株式 773,994	-	-
発行済株式総数	63,855,994	-	-
総株主の議決権	-	61,951	-

(注) 「完全議決権株式(自己株式等)」欄は、全て当社保有の自己株式であります。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
中央発條株式会社	名古屋市緑区鳴海町 字上汐田68番地	1,131,000	-	1,131,000	1.77
計	-	1,131,000	-	1,131,000	1.77

(注) 当第1四半期会計期間末現在の自己株式数は、1,133,000株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	10,367,312	10,549,066
受取手形及び売掛金	16,548,602	16,113,089
商品及び製品	2,602,778	2,651,573
仕掛品	1,604,187	1,659,279
原材料及び貯蔵品	4,055,922	4,093,591
繰延税金資産	988,966	1,364,315
未収入金	305,876	339,706
その他	817,812	971,629
貸倒引当金	25,045	25,482
流動資産合計	37,266,414	37,716,770
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	26,367,736	26,936,196
減価償却累計額	19,029,329	19,271,074
建物及び構築物(純額)	7,338,407	7,665,122
機械装置及び運搬具	52,697,856	53,634,711
減価償却累計額	44,108,121	44,667,000
機械装置及び運搬具(純額)	8,589,734	8,967,711
土地	9,290,165	9,314,890
建設仮勘定	3,628,944	3,455,001
その他	8,484,911	8,659,933
減価償却累計額	7,430,331	7,511,927
その他(純額)	1,054,580	1,148,006
有形固定資産合計	29,901,832	30,550,732
<b>無形固定資産</b>		
のれん	6,062	5,196
その他	124,039	117,861
無形固定資産合計	130,101	123,057
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	12,544,473	14,936,654
関係会社出資金	339,904	377,678
長期前払費用	283,269	326,802
繰延税金資産	492,722	509,291
前払年金費用	605,541	582,625
その他	307,851	314,676
貸倒引当金	57,385	57,030
投資その他の資産合計	14,516,376	16,990,697
固定資産合計	44,548,309	47,664,487
資産合計	81,814,724	85,381,257



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,638,750	13,869,857
短期借入金	1,526,247	1,616,824
1年内返済予定の長期借入金	3,200,000	3,000,000
未払金	1,932,211	1,177,268
未払費用	1,900,424	3,282,266
未払法人税等	822,567	714,618
賞与引当金	1,510,135	802,137
役員賞与引当金	94,721	21,207
製品保証引当金	28,587	26,037
その他	699,513	814,961
流動負債合計	25,353,158	25,325,178
固定負債		
長期借入金	200,000	504,110
繰延税金負債	4,042,995	4,884,899
退職給付引当金	1,693,952	1,737,298
役員退職慰労引当金	318,290	245,045
資産除去債務	109,982	110,612
その他	1,035,451	1,073,099
固定負債合計	7,400,672	8,555,064
負債合計	32,753,831	33,880,242
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,837,208	10,837,208
資本剰余金	11,128,923	11,128,923
利益剰余金	18,884,415	19,209,588
自己株式	544,260	545,071
株主資本合計	40,306,287	40,630,649
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,903,316	8,460,583
海外子会社の土地再評価差額金	250,420	250,420
為替換算調整勘定	1,419,437	956,969
その他の包括利益累計額合計	5,734,299	7,754,034
新株予約権	15,991	14,011
少数株主持分	3,004,315	3,102,319
純資産合計	49,060,892	51,501,014
負債純資産合計	81,814,724	85,381,257

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	20,467,573	20,767,950
売上原価	18,172,736	18,215,802
売上総利益	2,294,836	2,552,147
販売費及び一般管理費	2,115,532	2,240,679
営業利益	179,304	311,468
営業外収益		
受取利息	4,646	3,460
受取配当金	103,825	160,554
持分法による投資利益	14,868	12,161
為替差益	-	342,417
その他	108,270	92,672
営業外収益合計	231,610	611,264
営業外費用		
支払利息	14,173	24,540
為替差損	238,889	-
その他	6,635	5,075
営業外費用合計	259,698	29,615
経常利益	151,216	893,117
特別利益		
固定資産売却益	-	1,456
新株予約権戻入益	1,372	1,980
特別利益合計	1,372	3,436
特別損失		
固定資産除売却損	1,464	4,600
投資有価証券売却損	-	2,605
投資有価証券評価損	3,889	-
特別損失合計	5,354	7,205
税金等調整前四半期純利益	147,234	889,348
法人税、住民税及び事業税	370,437	655,687
法人税等調整額	327,365	385,262
法人税等合計	43,071	270,424
少数株主損益調整前四半期純利益	104,162	618,923
少数株主損失( )	2,293	7,328
四半期純利益	106,456	626,251

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	104,162	618,923
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	735,082	1,568,254
為替換算調整勘定	58,935	252,427
持分法適用会社に対する持分相当額	18,621	18,315
その他の包括利益合計	775,397	1,838,997
四半期包括利益	671,234	2,457,921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	683,406	2,391,763
少数株主に係る四半期包括利益	12,172	66,157

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

当第1四半期連結会計期間より、連結子会社のうち決算日が12月31日であったCENTRAL SPRING, INC.、昆山中発六和機械有限公司、天津中発華冠機械有限公司、昆山中和彈簧有限公司及び天津中星汽車零部件有限公司並びに持分法適用の関連会社で決算日が12月31日であった天津中発富奧彈簧有限公司は、連結財務情報のより適正な開示を図るため、連結決算日に仮決算を行い連結する方法に変更しております。

この変更に伴う平成25年1月1日から平成25年3月31日までの3ヶ月間の損益は、利益剰余金の増減として調整しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	733,092千円	786,405千円
のれんの償却額	866千円	866千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月14日 定時株主総会	普通株式	250,948	4	平成24年3月31日	平成24年6月15日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月13日 定時株主総会	普通株式	250,898	4	平成25年3月31日	平成25年6月14日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	北米	中国	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	15,872,952	2,026,739	578,489	1,989,391	20,467,573
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,569,301	145	324,538	420,159	2,314,144
計	17,442,253	2,026,884	903,028	2,409,550	22,781,717
セグメント利益又は損失( )	712,428	78,735	65,409	63,402	631,686

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	631,686
未実現利益の消去等	21,305
全社費用(注)	431,076
四半期連結損益計算書の営業利益	179,304

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門に関わる費用であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	北米	中国	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	14,684,198	2,598,612	944,326	2,540,812	20,767,950
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,567,755	157	307,410	409,747	2,285,070
計	16,251,953	2,598,770	1,251,736	2,950,560	23,053,020
セグメント利益	573,836	113,903	1,971	39,678	729,390

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
  主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	729,390
未実現利益の消去等	79
全社費用(注)	417,842
四半期連結損益計算書の営業利益	311,468

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門に関わる費用であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	1円70銭	9円98銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	106,456	626,251
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	106,456	626,251
普通株式の期中平均株式数(株)	62,735,079	62,722,903
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月 7日

中央発條株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 水 野 裕 之 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 淺 井 孝 孔 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている中央発條株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、中央発條株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。